

清水町 町名変更に関する住民説明会 要旨

令和8年3月2日（月）10:00～11:30

旭山福祉館

出席者：12名

説明員：・町長、鈴木企画課長

事務局：佐藤企画課長補佐、青砥企画統計係長

1 開会

2 町長あいさつ

3 情報提供

別紙資料について説明（鈴木課長）

4 意見交換

（町長）

資料に見え消しで記載している今後のスケジュールの変更については、清水市街地や御影市街地で行った説明会での意見を踏まえ更新した内容である。町名変更は町のふるさと納税による財源確保や企業誘致のための戦術として行っていきたいと考えている。

○町名変更は住民の想いからではなく、町からの提案なのが気になっている。十勝のネームバリューはすでに役場のHPでも使っており、これ以上のプラスは無いのではないかと。1億円の金額も大きすぎる。町名変更に伴い、学校の名前も変えるのか。

→（町長）

正式名称と愛称では違うと考えている。学校の名称の変更は無く、十勝清水町立清水小学校等になる。1億円が大きな金額なのは理解しているが、未来への投資としての効果は大きいと思う。町名変更は町の基盤整備であり、見えないインフラである。

○農協の正式な賛同を得ないで、農協からの賛同を謳うのは違うのではないかと。

→（町長）

正式な組織決定ではないが、組長や会長レベルとの話では賛同の意向を聞いている。ただ正式な組織決定ではないので、誤解を招かないように今回の資料からはそのような表現は削除している。

○法務局の手続きも個人負担となるのか。口約束ではなく書面で確認はとっているのか。

→（鈴木課長）

個人負担は無いと聞いている。戸籍などの関係は書面上でも行っている。

○農協を含めた企業の負担について、もっと丁寧な説明が必要である。

→（町長）

今後も更に丁寧な説明に努めていく。

○法務局や金融機関などでの手続きについて、口頭での確認では心配なので書面で正式にもらってほしい。

→（鈴木課長）

相手方もいることなので、可能な範囲で意向に添えるよう進めていきたい。

○未来への投資との内容は理解したが、それによって今何か困りごとがあると困るので、その辺りの説明も丁寧に行ってほしい。

→（町長）

丁寧な説明を心掛けたい。書面にできるものはしていくよう進めていきたい。

○町の財政は大丈夫なのか。不透明なふるさと納税などをあてにしてこのような大きな事業を進めるのは危険ではないか。必要なインフラ整備や建物の老朽化対策が優先ではないか。

→（町長）

町名変更を行うことで、何かできないことがあるわけでない。必要なことを行いつつ進めていく。町名変更と一体的に総合的なまちのPRの戦略も考えている。

○外からの視点でみた場合は町名変更はいいと思う。個人事業主に対しては町名変更に係る手続きの補填はあるのか。

→（鈴木課長）

個人事業主についてもいろいろな影響が予想されるため、補助の対象とする予定である。

○町名変更の費用はこれ以上上がった場合はどうなるのか。また、令和8年度の当初予算に入っているのか。

→（鈴木課長）

これ以上増えることはないという前提で現状考えうる最大値で積算している。住民投票の結果に基づき補正予算で対応していきたい。

○住民投票の実施は議会を含め十分な議論は行われているのか。お金もかかるため慎重に検討してほしい。

→（町長）

住民投票の条例案の提出をもって議会でも議論が行われることとなる。まちの未来のことなのでまち全体で考えていきたい。

○十勝を使うことによる管内他自治体住民からの苦情等はあるのか。十勝は全国ではそんなに有名ではないと思う。

→（鈴木課長）

直接の苦情はない。

→（町長）

全国の清水地区とのまぎらわしさを解消していきたい。

○ふるさと納税は町の応援ではなく、ネット通販だと思うので町名変更は関係ないと思う。

→（町長）

露出を多くすることによって増額に繋がると思っている。

○ふるさと納税が増額した場合、例えば介護保険料等が安くなったりするのか。目に見えるかたちで還元してほしい。

→（鈴木課長）

いろいろなかたちで町民に還元していきたい。

○町名変更に伴い人口減少対策にもつなげていけないか。

→（町長）

企業誘致により働く場所を創出し人口減少に歯止めをかけたい。

○町名変更に関する法人の手続きを代行してほしい。お金の問題より手間が心配である。

→（鈴木課長）

町でどこまでできるかは考えていきたい。できるだけ負担をかけないような方法を考えていきたい。

○町名変更と並行しインフラ整備、生活のしやすさの向上に努めてほしい。

→（町長）

生活のしやすさの向上も含めながら進めていきたい。

5 閉会